



夙くみんの 突撃インタビュー!

「トゥモローズホームリハビリ
センター」&「デイサービス 編
リハビリセンタートレフル」

「気軽にボランティア活動を」

今回は、トゥモローズホームリハビリセンターの清水さんに、事業所でのボランティア活動の様子をインタビューしました!



▲職員の方皆さん
(左から 小竹さん、千秋さん、森田さん)

Q どのようなところですか?

A 重点的で専門性の高いリハビリテーションとして、またはきめ細かなケアサービスを受けながら楽しめるデイサービスとしてなど、色々な目的に合わせて利用の仕方が選べるハイブリッド型デイサービス、リハビリセンターです。

事業所内は白や木調の色合いを基調とした明るく開放感のある空間となっており、カフェスペースではゆったりとした時間をお過ごし頂き、リハビリスペースでは充実した器具とリハビリスタッフにて、ご利用者の日々の生活のサポートをさせて頂きます。

＜この記事に関するお問い合わせ＞

トゥモローズホームリハビリセンター (若杉 1-2801)

TEL 33-3220 FAX 33-1244 (担当 清水さん)

Q どんなボランティア活動がありますか?

A レクリエーションの時間に、演奏を披露して下さるボランティアさんに活動いただいています。ほかにも、習字・折り紙等を教えていただける方や、事業所周りの草木のお手入れのお手伝いをしていただける方を募集しています。趣味や特技を活かして、ボランティア活動を楽しんでみませんか。

Q ボランティアさんへメッセージを!

A 私たちは開放的な施設づくりを目指しており、ボランティアに関心がある方や、介護に関心のある方など、まずはお気軽にお越しいただきたいです。手の空いたすきま時間や1回からの活動でもOKです! ボランティアさんとの交流を、ご利用者はじめ、職員も楽しみにしています。併設の「デイサービスリハビリセンタートレフル」でもボランティアを募集しています。

※マスク着用・手指の消毒・検温など、新型コロナウイルス感染予防にご協力ください。

※2週間以内の県外往来歴がある方は活動をお控えください。

ボランティア 豆知識

「フードドライブ」って何?

「フードドライブ」とは、家庭や職場で余っている食べきれない食品の寄附を募る活動です。

アメリカでは1960年代から盛んに行われ、日本でも2000年以降活動が始まりました。現在では、NPO・企業・自治体などさまざまな団体で取り組みが広がっています。集められた食品は、必要としている施設や団体などに届けられます。



フードドライブの流れ



食品ロス削減にもつながります!

食品ロスとは、まだ食べられるのに、捨てられている食品のことです。

日本では、年間600万トン以上の食品ロスが発生しており、そのうち約300万トンは家庭からのものです。

フードドライブによって食品ロスを減らし、「もったいない」を「ありがとう」に変えることができます。

フードドライブはSDGsを推進することにもつながるんだね!



市内の実績のある団体

・福井市環境政策課(TEL 20-5609) ・福井県民生協(TEL 0120-016-165)

※募集している時期は、実施団体によって異なりますのでお問い合わせください。